

令和2年度

# 自己評価結果

聖マタイ幼稚園

## 保育理念

本園はキリスト教精神にもとづいて、園にかかわるすべての人々が、神の祝福と愛の恵みの中で、幼な子を中心として、神に感謝しつつ保育をする。心身の発達と人格形成の基礎となる最も大切なこの時期に、望ましい環境を整え、家庭支援や地域との関わりを重視しながら、幼な子にとっての最善の保育を目指す。

## 保育目的

キリスト教の愛に根ざし、幼児の成長の発達にふさわしい環境を設定し、教師が見守りつつ、いろいろな援助のなかで、幼児の心や身体が健康で、明るく全体に調和のとれた、自発性のある子どもを育てる。

## 保育方法

子どもたちの可能性へのチャレンジとしてモンテッソーリ教育法を取り入れています。クラスは3・4・5才児混合の縦割りです。この教育法を基にモンテッソーリ氏が開発した教具を用いて子どもたちがおしごと（モンテッソーリ活動）に取り組んでいる姿が見られます。整えられた環境の中で子どもたちの自らを成長させようとするエネルギーを支え、「一人のできるように・・・」と自立へ向かう道を援助していきます。

## 評価項目の達成状況

### I 保育の計画性

	評価分類	評価	備考
1	園の教育理念 教育方針の理解	A	
2	幼稚園教育要領の理解	B	
3	教育課程の編成	B	
4	指導計画の作成	A	
5	環境の構成	A	
6	保育と計画の評価・反省	A	

## II 保育の在り方、幼児への対応

	評価分類	評 価	備 考
1	健康と安全への配慮	A	
2	幼児のみとりと理解	A	
3	指導とかかわり共同作業者として	A	
4	あこがれを形成するモデルとして	B	
5	心のよりどころとして	A	
6	遊ぶ援助者として	B	
7	保育者同士の協力・連携	A	

## III 教師としての資質や能力・良識・適性

	評価分類	評 価	備 考
1	専門家としての能力・良識・義務	A	
2	マナー	A	
3	組織の一員としての在り方	B	
4	保育の楽しみ・喜び	A	
5	まわりを感じ取れる感性・アンテナ	A	

## IV 保護者への対応

	評価分類	評 価	備 考
1	情報の発信と受信	B	
2	協力支援	A	
3	守秘義務の遵守	A	
4	対応上のマナー・良識	A	
5	クレームへの対応の仕方	A	

## V 地域の自然や社会とのかかわり

	評価分類	評 価	備 考
1	地域の自然・人々とのかかわり	B	
2	小学校との連携	C	
3	地域への開放と支援	C	

## vi 研修と研究

	評価分類	評 価	備 考
1	研修・研究への意欲・態度	B	
2	教師としての専門性に関する研修・研究	B	
3	遊具・教材に関する研修・研究	A	
4	園内の環境に関する研修・研究	B	
5	今日的課題に関する研修・研究	B	
6	自らを高めるための学習	B	

評価は A（十分達成できている） B（おおむね達成できている） C（達成に努力がみつようである）

## 総合評価

### I 保育計画について

保育計画を立てるために前年度の反省点や成果を参考に立てているがコロナ禍で密を避けるための工夫が必要となり新しい取り組みが多くなった。その為子どもの成長を妨げない指導について話し合う時間が増えた。

### II 保育の在り方、幼児への対応

感染対策を取り入れるために活動支援が大きく変わったが個々を大切にすることを優先に保育に努めた。新しい保育方法が今まで気付かなかった子どもの様子を知る機会になったり幅広い保育活動が展開できた。

### III 教師として資質や能力・良識・適正

専門職としての学びは常に必要であるので個人的に課題に取り組む事や、保育で気づいた事を同僚と話し合う場面がよく見られた。

### IV 保護者への対応

感染対策のため、保護者も来園制限となり対面しての報告がほぼできなかった支援を必要とする子の保護者への対応は心情を察しながら声掛けをし情報を共有できた。

### V 地域の自然や社会とのかかわり

通園バスを利用して遠方へでかける計画が中止になったが、園庭で思いっきり遊ぶ時間を増やした。

園庭にいる虫（昆虫）に興味を持つ子が多く名前調べ等盛り上がった。

地域交流がなかなか出来ない事が悩みだが、今年は特に交流の場がなかった。

### VI 研修と研究

本土での開催研修は全て中止になった。web研修に参加したり、休園期間中に教師の意見交換時間を多く持つことができ、それぞれの提案する内容を共有できた。

## 今後の課題

教師の資質向上が強く求められるようになっていきます。日常的な事、専門的な面での学びは日頃から必須だと認識しなければならない。

子どもが安心して遊べる環境、保護者にとっても安心して預けられる環境づくりを目指し行きたい。